

特集 ● 2024年度(令和6年度)  
● 医療法人 生愛会グループ クリスマス会 開催

# 生愛TIMES



撮影者：理事長 本間達也

2025年(令和7年)4月

第34号



SEIAIKAI  
HEALTHCARE  
CORPORATION



SEIAI WELFARE  
PROJECT  
GROUP

## 目次

巻頭言 本間達也理事長	／1
川村博司院長 人生百年時代	／2
生愛会グループクリスマス会	／3~4
福島北警察署長8年始挨拶 生愛至誠塾	／5
防衛大臣感謝状記念品・自衛隊実習生 日本生命労働組合より寄贈品	／6
福島県老人保健施設大会 地域包括ケア懇親会	／7
全老健大会岐阜 県老健災害協定締結	／8
BCP訓練・消防訓練	／9
福島市福祉作品展 生愛ガーデン文化祭	／10
認知症サポーター養成講座 特定技能実習生チンさん帰国 FKK満山さんへ御礼	／11
肺理学療法(吹き戻し) 通所クリスマス会	／12
生愛ガーデン・生愛レジデンス 「年末年始のイベント」	／13
生愛福祉事業団・地域関連イベント ご意見・ご要望、人事	／14



本館

医療法人 生愛会 附属介護老人保健施設  
生愛会ナースingケアセンター



2号館

社会福祉法人 生愛福祉事業団  
特別養護老人ホーム 生愛 ガーデン  
グループホーム 生愛レジデンス



4号館

地域複合型総合施設  
生愛会  
生愛会 総合リハビリテーション医療ケアセンター

医療法人 生愛会  
社会福祉法人 生愛福祉事業団

# 巻頭言 「新年度を迎えて」

医療法人 生愛会グループ 理事長  
総院長 医学博士 本間達也



常日頃より、生愛会グループの運営につきまして、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

## ダブル改定から一年を迎えて

昨年度は介護報酬改定・診療報酬改定のダブル改定となり、特に医療・介護に於ける連携と介護生産性向上に伴うICTの活用が医療・介護施設での課題となった報酬改定でした。

当生愛会グループでは大原医療センターとの協力医療機関の協定を結び、日々連携を取りながら、利用者への切れ目ない医療・介護サービスの

提供を目指し、質の高いサービスを提供できるように努めております。

また、法人事務職員の業務効率化・負担軽減（働き方改革）のために、職員の給与明細書を紙媒体から電子化を行い、アプリを使用しての受領となる取り組みを行っており、その事務処理の負担軽減の効果も見られているところです。

さらに、今年度は利用者の方々に郵送でお届けしております、請求書・領収書について、一般企業でも進められております、電子アプリを使用した受領を行うDX化を行う予定でありますので、利用者・家族の皆様にはご理解・ご協力をお願い申し上げます。

今後、生愛会グループでは新しい取り組みを行うことで、職員の処遇改善、延いては、利用者へのサービスの質の向上に繋がるよう精進して参ります。

## 令和6年度 物価高騰支援金

また、昨年、一般社団法人 福島県老人保健施設の会長として、福島県議会議員へ「臨時の介護報酬改定」について実情を強く訴えて参りました。その結果、昨年12月に県議会での補正予算が承認され、原油価格や物価の高騰による高齢者施設への影響緩和として、「令和6年度福島県社会福祉施設等物価高騰対策事業（高齢者施設等）支援金」が交付されることとなり、一定の成果を得られることができました。それも各関係団体及び利用者とそのご家族のご協力とご支援があつたのことで、この場をお借りして、感謝申し上げます。

しかしながら、この度の支援金は一度のみの支援となっており、今後も続く物価高騰への一時的な支援に他なりません。今も続く戦争により世界情勢が不安定な中で、今後も一般社団法人 福島県老人保健施設協会の会長として、また、生愛会グループの理事長としても、継続した支援を訴えて参る所存です。

## 利用料金の一部 値上げについて

全国的にも介護人材の不足は大きな問題となっております。福島県においては、2026（令和8）年に約2200人の介護職員の人材不足が予測されると、報道でも取り上げられております。そのようなかで、各施設では、定年を迎え第二の人生を歩まれようとしている方に介護助手として、利用者への直接的な介護ではなく、ベッドメイキングや食事の配膳、清掃や送迎などといった、利用者の身体に触れない業務全般を担って頂ける人材を募集して、介護職の負担軽減や利用者へのサービスの質を落とさないように努力をしております。

しかしながら、現状として、身近な福島市内においても入所施設やデイサービス・ケアなどの通所系事業所において、事業の縮小、閉鎖をしております。そこには、物価高騰による経営難・悪化等の原因のみならず、人材不足の問題も極めて大きな影響を与えております。

そのような現状の中、当生愛会グループは、最低賃金の値上げに伴い、職員への昇給を行う予定でありますが、介護報酬は基本的には三年に一度の改定で天上が決められており、三年間はその報酬体系で運営を行わなくてはなりません。そのため、生愛会グループでは、利用料金を今年度4月1日より一部値上げすることと致しました。既に、各事業所の担当からご連絡をさせて頂いていただいておりますが、是非とも皆様の深いご理解を頂きますようお願い致します。

ほんま たつや / 医学博士  
老健管理認定医

（日本老年医学会  
主な役職等

（医）生愛会グループ

理事長 総院長  
（社）生愛福祉事業団 理事長

福島県老人保健施設協会 会長

福島県医師会倫理審査委員

金沢大学医学部臨床教授

福島県立医科大学医学部臨床教授

奥羽大学歯学部客員教授

日本健康促進医学会 理事

日本認知症ケア学会 代議員

全国老人保健施設協会 元副会長

# 人生百年時代にむけて期待される生愛会の役割

## 「コンパッション・コミュニティ」の創生

医療法人 生愛会グループ  
附属介護老人保健施設 生愛会ナースینگケアセンター

常務理事  
管理医師 **川村博司**



逼迫に対して解決の糸口を見出せないでいます。医療、そして社会は高齢者をどう支援すればよいのでしょうか？

今年、昭和百年にあたります。そして、まもなく人生百年時代が到来します。二〇一六年に出版された「LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略」によれば、二〇〇七年生まれの日本人の五〇%は一〇七歳まで生きると推測されているのです。現在既に、自立し、社会的に活躍し、自分らしく生きる百歳代高齢者は、珍しくありません。しかし、現代社会は血縁・地縁・社縁といった従来の支え合い機能が弱まり、独居、老々介護、九〇六〇（加えて一〇〇七〇）問題などの介護力や医療・介護の人材の不足および医療経済の

に導く医療・介護・福祉の拠点であるからです。その際、医療機関と老健は連携を強化してどちらか後盾になる関係性を築くことが重要です。ただし、この前提として医療機関ばかりではなく、老健にもさまざまな疾患や病態に精通した高齢者診療に積極的に取り組む医師、医療・介護専門職が必要です。

さて、目覚ましい進歩を遂げた現代医療ですが、人生百年の医療現場では医療AIやEvidence Based Medicine、EBMばかりでなく、百年を生きてこられた個人の物語を大切にすNarrative Based Medicine、NBMを尊重することが肝要です。施すので



はなく、「寄り添う」。人生会議や緩和ケアの誤解・偏見を解き、これらを正しく実施する。薬物療法ばかりでなく、非薬物療法、情動療法、回想療法、音楽などのアート・リハビリテーション（以下、リハ）・美味しい食事によってストレスや痛みから解放する。これらこそが医療の本質です。

私は急性期医療を四十年務めた後、生愛会に参りました。生愛会で医療・介護・福祉に携わる職員が自らの職責を誇りに医療の本質に全力で向き合う尊い姿に出会い、私自身も新たな職務に挑む意欲と活力を得ることができました。

生愛会ナースینگケアセンターは「超強化型」老健であり、在宅復帰に向けてリハや認知症ケアに取り組む一方で肺炎、尿路感染症、带状疱疹、蜂窩織炎、慢性心不全の増悪といった所定疾患の治療も行います。それ故、病院の「急性期病棟」、「地域包括医療病棟」、「地域包括ケア病棟」のいずれからも患者さんをご紹介いただき、リハ、栄養管理、在宅復帰支援を行っています。さらに老衰、認知症、慢性呼吸器疾患、心疾患、消化器疾患、そしてがんの方々には

対して人生会議を実施し、人生の最終段階における医療・ケアにも万全を尽くします。

生愛会の医師・歯科口腔外科医師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士、理学・作業療法士、言語聴覚士、薬剤師から成る医療チームと利用者に深く関わる介護福祉士、介護職、また、医療・介護・福祉を根底で支える社会福祉士、介護支援専門員、相談員、事務部門は一人ひとりが義理人情に厚く、真摯に利用者やその家族と信頼関係を築き、利用者ファーストで職務を行っています。さらに利用者と家族はかりではなく、地元、大笹生・笹谷・庭坂地区の方々との交流も活発に行っています。

生愛会は地域と共にこれまで培ってきた「ふれあいの心」を基盤に、地域社会への貢献、信頼関係の構築を果たし、地域ぐるみで支え合うCC創生の拠点として、その力を発揮できると私は確信します。かわむら／ひろし／医学博士

主な役職等

- (医)生愛会グループ常務理事 生愛会ナースینگケアセンター管理医師 院長
- 山形大学大学院博士課程昭和七年卒
- 山形大学大学院博士課程昭和六年修了
- 山形大学医学部臨床教授 認定NPO法人
- モルヒネ友の会副理事長 歴任
- 日本外科学会認定登録医 日本緩和医療学会認定医 日本消化器病専門医 日本がん治療認定医

# グループ クリスマス会

# 盛大に開催

(2024年(令和6年)12月17日開催)



代表挨拶をする医療法人 生愛会グループ  
理事長 本間達也先生

2024(令和6)年12月17日(火)、医療法人 生愛会 福島ホテルグリーンパレスにて2024年度(令和6年度)医療法人 生愛会グループクリスマス会が盛大に開催されました。生愛会グループの役員・職員、来賓、日頃、お世話になっていている関連業者の皆様方等、約200名の参加者が楽しいひと時を過ごしました。

今年のクリスマス会は著名な先生方を招いての講演と併せて開催し、いつもよりも多数の参加者の方で賑わいを見ることができました。当日は、参議院の予算決議があり、進行が遅れてしまったことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。



来賓の挨拶をする一水会代表 木村三浩先生

会の冒頭に医療法人 生愛会グループ 本間達也理事長より挨拶があり、生愛会グループ創立から二十八年の歳月が経ち、名実ともに地域に根差した生愛会グループに成長することが出来たこと、三年前のコロナクオースターに於いては経営的にも危機的な困難があり、同グループの医師団の医療に於ける熱い思いとご指導によって乗り越えることが出来たことへ、出席者一人一人の方々に感謝の気持ちが出されられました。

続いて、来賓代表として一水会・木村三浩代表、参議院議員 鈴木宗男先生、参議院議員の山口和之先生より御挨拶を頂きました。



参議院議員 鈴木宗男先生を紹介する本間達也理事長

一水会・木村三浩代表からは、「大東亜戦争が終結し来年で、80年を迎える。犠牲となった先人の中には学生もおり、昭和十八年十一月には学徒出陣として多くの学生が戦地に赴き亡くなったことを忘れてはならないと慶應義塾大学の創立一五〇周年に先輩方の有志を記憶に残し我々が追悼し戦没者の御霊に対して誠を捧げる思いで、慶応義塾大学戦没者追悼を行った。日本人として、先輩方を敬い、個人の利益追求や個人を主張するだけではなく、譲り合いの精神やお互いに尊重し合うようなことを甦らせなければならぬ。」と挨拶を頂きました。



来賓の挨拶をする参議院議員 鈴木宗男先生

続いて、参議院予算決議を終えて東京より駆けつけて下さいました、参議院議員 鈴木宗男先生からは「生愛会の皆様の頑張りは本間理事長が一番理解している。本間理事長とは帯広に長谷川先生という大きな病院グループ(職員数約二千名)を経営している先生がおり、本間理事長の後輩で親しい間柄であり、人生のご縁・めぐり合わせに感謝している。」と生愛会職員への労いと本間理事長との深いご縁について話がありました。

そして、「二人では生きてはいけない。」「家族が大事。家族に感謝してください。」「仲間(心友)を大切にしてください。」



来賓の挨拶をする参議院議員 山口和之先生

最後に、同じく参議院予算決議を終えて駆けつけてくださった、地元選出の参議院議員 山口和之先生よりご挨拶を頂きました。山口先生からは、「福島の医療・介護・福祉の未来のために頑張ります。」と決意が述べられました。



参議院議員 山口和之先生を紹介する本間達也理事長

ください。」と職員への励ましのお言葉と三つのメッセージを頂きました。



歓談を楽しむ 前県医師会長・生愛福祉事業団 評議員 佐藤武寿先生と令夫人 仁様

乾杯は同グループの医学博士 川村博司院長先生より益々の生愛会グループの発展を祝して乾杯の発声が聞かれ、祝宴により各席でのコミュニケーションが図られました。



乾杯の挨拶をする 医療法人 生愛会 常務理事 川村博司院長先生



(右) 鈴木宗男先生と挨拶をする 元県議会議員 甚野源次郎先生



閉会にて万歳三唱をする 生愛会中央医療クリニック 角田裕先生

その後、時間を惜しむなか、閉会では同グループ 医師の角田裕先生による万歳三唱で盛況のうちに閉会となった。今年も盛況のうちに生愛会グループクリスマス会が閉幕となり、来賓、役員、関係業者の皆様が楽しまれている様子を見ることができ、思い



(右) 鈴木宗男先生と挨拶をする 元市議会議員・生愛福祉事業団 評議員 木村六朗 先生



出深い一日となりました。来年もさらに皆様と連携して地域の医療・福祉を支えていきたいと思っております。



# 防衛省から感謝状記念品の授受 生愛会グループで自衛隊若年定年退職予定隊員研修が行われました

中谷防衛大臣より  
感謝状贈呈記念の盾

自衛隊退職予定者が  
生愛会で研修

前号の生愛タイムズでも掲載しました通り生愛会グループは2024(令和6)年10月26日(土)に東京都市ヶ谷の防衛省に隣接するグラントヒル市ヶ谷で行われた令和6年度自衛隊の記念式典において中谷元(なかにげん)防衛大臣より感謝状を拝受しました。その記念として、後日、防衛省から式典での集合写真と記念品の盾が贈呈されたのでご報告します。



また、2025(令和7)年

1月28日(火)には防衛省自衛隊福島地方協力本部福島地区援護センターの有坂光雄就職援護広報官からの要請で若年定年退職予定隊員の研修が生愛会グループで行われました。これは、若年定年退職を予定している自衛官が退職後の再雇用先でどんな業務を行っているのかを体験するための研修であり、今回は自衛隊退職後に当グループのような医療介護事業の職種へ就職を希望している隊員向けに自衛隊からの要請で行われました。

研修では初めに本間達也理事長と懇談が行われ、次いで生愛会法人本部施設管理のスタッフら(自衛官OB)による館内の見学、普段の業務内容レクチャー(車いす搭乗機能を持った送迎車の操作など)を行った後に、地域交流館(介護予防カフェ)カナリアにて懇談会が行われました。生愛会グループとしては今後とも本間達也理事長の指揮の元、日本国、防衛基盤整備支援のために引き続き積極的に協力させていただきます。



## 日本生命労働組合様よりポジショニング用クッション寄贈

日本生命労働組合様よりニッセイユニオン 地域貢献活動「はつぴいサポートカタログ」の寄贈活動として利用者のポジショニングに使用するクッションを寄贈していただきました。

今年度、ニッセイユニオン全国一斉取組みとして地域の福祉・介護施設への寄付に加えて、医療従事者への支援の一環として医療機関への寄贈を実施しております。

生愛会ナーシングケアセンターに入所者の中には、姿勢保持のためや、疲れない姿勢を保つため、クッションを利用する事も多いのですが、対象者が増加傾向にありました。そのようなタイミングで、寄贈のお話をいただき、大変嬉しく思います。



低反発で機能性が高く、しっかりとしたクッションですので、利用者の方に使用していただきたいと思っております。大変、ありがとうございます。



(左) 日本生命保健相互会社 桃井慎也様 (右) 同会社 根津哉子様  
(中央左) 本間達也理事長 (中央右) 谷口裕子施設長

寄贈していただいたクッション

一般社団法人 福島県老人保健施設大会 盛大に開催  
(老健施設の学術研修会)

本間達也理事長が  
大会会長として開催

2025(令和7)年2月21日に福島市のウエディングエルティにて、一般社団法人福島県老人保健施設大会が開催されました。本大会は生愛会グループの本間達也理事長が大会会長を務め、開会の挨拶では、県民の方に広く健康で笑いのある生活を送ってもらうために、特別講演を県民公開講座とし、また、利用者の方々や現場で働く職員の方にも少しでも楽しく働いていただけるように企画したことの話がありました。そして、学術研修会においては県老健会員施設の皆様方の資質向上・スキルアップの一助となりますようにと挨拶がありました。



大会会長として挨拶をする 本間達也会長

県民公開講座  
「笑い与健康」



福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授 大平哲也先生

本大会の特別講演として福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授の大平哲也先生をお招きして、「笑い与健康」笑って健康寿命を延ばしましょう」をテーマにご講演をいただきました。本講演では県民の方にも広く大平先生のお話を聞いていただき、日々の活力としていただけるように県民公開講座と致しました。当日は約200名の参加者が県内遠方より集い、大平先生の「笑いヨガ」の実演で会場は笑い・笑顔にあふれ、参加された皆様から「元気が出た」「活力になった」との声が聞かれ、参加者の皆さんが大変よろこばれておりました。

老健職員  
学術研修会

学術研修会としては、福島県保健福祉部 社会福祉課 主任主査の守岡宗典先生より昨年の医療・介護同時改定後についてご講演をいただきました。続いて、会員施設の皆様からのご要望で、BCPの運用における研修・訓練の実施について、更に、災害時施設相互応援協定についても併せて、リスク専門家として著名でテレビ出演もされているミネルヴァペリタス株式会社顧問の本田茂樹先生よりご講演をいただきました。日頃の疑問にお答えいただき、実りのある大会となりました。



ミネルヴァペリタス(株) 顧問 本田茂樹先生



福島県保健福祉部 社会福祉課 主任主査 守岡宗典先生

一般社団法人  
福島県老人保健施設協会

地域包括ケア懇親会

開催日時：令和7年2月21日(金)  
会場：アマンタナイル

一般社団法人 福島県老人保健施設大会が開催された当日に「地域包括ケア懇親会」を併せて開催しております。

地域包括ケア懇親会は、毎年開催され、今回で4回目を迎えることとなりました。県医師会を始めとする医療・介護・福祉、職能団体の長が集まり、懇親を深める会として老健協会が主となり、地域包括ケアの中核として開催しております。今年も15団体の長が集まり、更に、県老健大会での講師の方々も来賓としてお招きし、情報交換を行い有意義な時間となりました。



来賓代表挨拶される 一般社団法人 福島県医師会 会長 石塚尋朗先生



本間会長が主催し県内の医療・介護団体の長が一同に集まる

# 第35回 全国介護老人保健施設大会 岐阜に参加

(公益社団法人全国老人保健施設協会主催 学術研修会)

日時：2024年11月14日(木)・15日(金)  
会場：長良川国際会議場 他



生愛会グループからは5名が参加



長良川国際会議場



演題発表する星野篤宏作業療法士

大会テーマは「再び、地域が動く、く多様性を包摂する老健のさらなる共進(共鳴・共生進化)を」とで、各地域における老健の多彩な活躍、在宅療養支援、栄養・口腔・リハの一体化、看取り支援について考え、それぞれの施設での取り組みを学ぶ有意義な大会となりました。当法人からは川村博司院長が演題発表(テーマ「認知症」)で座長

を務め、自立支援のために利用する自助具の作製に3Dプリンタを導入し、オーダーメイド者自身が生活場面での「できなかった動作」が「できる動作」に変わり、QOL(生活の質)の向上に結び付いた事例を報告しました。現在も評価・修正を加えて継続してリハビリテーションの一環として取り組んでいます。



座長を務める川村博司院長

2024(令和6)年11月14日(木)・15日(金)、岐阜県岐阜市で「全国介護老人保健施設大会 岐阜」が開催され、延べ1万人以上の介護老人保健施設の職員が参加されました。

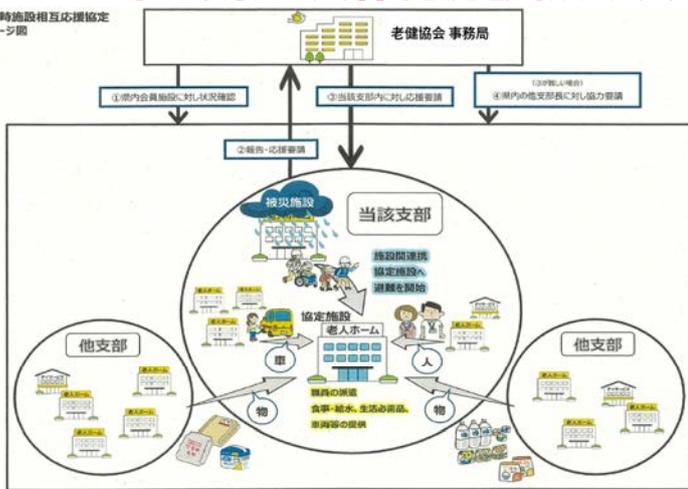
「自助具活用による自立支援」3Dプリンタを用いて、当法人は個々の障害対応を目的に、自立支援のために利用する自助具の作製に3Dプリンタを導入し、オーダーメイド者自身が生活場面での「できなかった動作」が「できる動作」に変わり、QOL(生活の質)の向上に結び付いた事例を報告しました。現在も評価・修正を加えて継続してリハビリテーションの一環として取り組んでいます。

参加者からの質問も多く、内容の濃いものとなりました。来年は山口県で同大会が開催される予定です。当法人としても積極的に参加する予定です。

生愛会ナーシングケアセンター(老健)職員が座長・演題発表を行う

## 一般社団法人 福島県老人保健施設協会 災害時施設相互応援協定書を締結

災害時施設相互応援協定イメージ図



災害時施設相互応援協定締結式にて調印される

医療法人 生愛会グループの本間達也理事長が会長を務める一般社団法人 福島県老人保健施設協会では福島県からの要請を受け、老健施設における災害時の施設相互応援協定の作成を行い、2025(令和7)年2月21日(金)に協定書が締結されました。当協定書は近年、全国的に大規模災害が頻発しており、福島県においても東日本大震災や令和元年東日本台風等、地震・水害を経験している中で、災害弱者である高齢者が

居住する高齢者施設については、災害発生後も施設サービスを継続可能な体制を整備する必要性があり、災害に備える施設同士の相互扶助体制の構築を目指したものです。福島県内に県北支部、県中支部、県南支部、会津支部、相双支部、いわき支部に支部長を置き、各支部で施設間での応援体制を構築しました。各老健施設が災害時も継続して地域の高齢者の支援に当たれるよう今後も取り組んで参ります。

福島県内で災害時における老健施設間での相互支援が強化される

# BCP訓練（事業継続計画訓練） 夜間災害想定での訓練実施

※Business Continuity Plan（ビジネス コンティニュティプラン）



## 生愛ガーデン（特養）にて 災害BCP訓練を実施

2024（令和6）年11月27日（水）に、生愛ガーデンにてBCP訓練を実施しました。震度7の地震（災害）が発生し建物崩壊の危険があるという想定で隣接する施設に、車で避難するという訓練を実施しました。想定時刻は夕方4時で、夜勤の職員も出勤できない状況を想定し、少ない人員で利用者全員をいかにスムーズに移動できるか、どのくらいの時間がかかるのかもあわせて検証しました。

訓練前は約1時間で避難ができるのではと予想していたのですが、全員が避難完了するまで1時間半と予想以上に時間がかかりました。また非常時持ち出しカード等も準備していたのですが、いざ避難が始まると移動することに夢中になってしまい、カードを持つていくのを忘れてしまうことや、防寒着を着て頂く際に、上着がないなど準備するのに手間取り、余計な時間がかかってしまったなどの沢山の反省点がありました。この実地訓練を参考にしながらマニュアルの見直しに努めたいと思います。



## 生愛会ナースングケアセンター（老健）から出火想定 消防訓練実施

2025年（令和7）年3月5日（水）附属介護老人保健施設 生愛会ナースングケアセンターの1階洗濯室からの出火想定で、福島飯坂消防署様と二ノテック様の協力のもとで、消防訓練を行いました。

日中の時間に出火した想定で行いましたが、出火発見や初期消火方法、設備の把握など、今後検討が必要な課題もありました。

最近では、岩手県の大船渡市で広範囲の山林火災が報道され、長期間におよび被害も拡大されました。

生愛会の周辺も枯れた杉の木や折れた木々など、乾燥された状態で非常に燃えやすい山林に囲まれている状況から、山林火災は決して対岸の火ではない事を、職員1人1人が自覚する必要性を強く感じました。

定期的に消防訓練は実施しておりますが、2025（令和7）年度の消防訓練では、非常口から実際に車椅子に乗った人を移送するなどの計画を検討したいと思います。



# 福島市福祉作品展 生愛会グループ2作品が受賞

医療法人 生愛会  
 附属介護老人保健施設 生愛会ナーシングケアセンター  
 通所リハビリテーション  
 生愛会中央医療クリニック デイケアヘルスケアスクールで受賞

2024(令和6)年11月29日(金)、福島市福祉作品展表彰式に、本体通所リハビリテーションと生愛会中央医療クリニック デイケアヘルスケアスクールの2事業所で受賞式に行ってきました。

ヘルスケア利用者代表で、後藤一男さんが受賞式で表彰状を受け取りました。

今年度は、全体で2000人以上の参加と高齢者施設45施設の参加でありましたが、ヘルスケアスクールでは「福島市福祉事務所長賞」を受賞、

本体通所リハビリでは「努力賞」を受賞する事ができました。

ヘルスケアでは、3か月分の新聞紙を使い、必要な色を探し、切り抜いて貼り、作品展に向けて協力して作業する事で、毎日の活動意欲にも繋がりが、活動を評価される事で自信(生きがい)に繋がりました。

また、今まで制作活動に参加した事が無い方も、熱心に取り組む姿を見て自発的に参加する等心を動かす活動となりました。



代表で表彰を受けるヘルスケア利用者 後藤一男さん



ヘルスケア受賞作品「柿」福島市福祉事務所長賞



本体通所受賞作品「蛭」努力賞



制作風景 様々な色の折り紙をちぎり貼りつける様子

## 生愛ガーデン「文化祭」 多数の作品でにぎわう

生愛会グループの作品を展示

生愛ガーデン「文化祭」とは、生愛会グループ作品展や、福島市みんなの作品展に出展した作品を、生愛ガーデンの集會室に再展示し利用者の皆さんに楽しんでもらうという主旨で行なっています。

今年度開催予定はなかったのですが、ヘルスケアスクール(通所)の皆さんより、今年度も開催してほしいという声があり「はい、よろこんで」と、今年度も開催する運びとなりました。

福島市主催の作品展は、市内の商業施設で行なわれるためなかなか見学にいけない方が多く、再展示することで多くの方に見ていただけ、有意義な展示となりました。



ヘルスケアスクールの皆さん見学にきてくださいました!



# 大笹生小学校児童と認知症について一緒に学び、交流を深める

## 大笹生小学校認知症サポーター養成講座開催

2025（令和7）年1月31日（金）、大笹生小学校の6年生7名を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。大笹生小学校とは、生愛会グループ全体で長年世代間交流を継続しており、認知症サポーター養成講座は毎年6年生の卒業前授業として開催しています。

今回の6年生はとても真剣に講座を受講する様子から、学ぶ意識の高さを感じました。これからも、認知症の正しい知識の普及啓発、未来への種まきとして、大笹生小学校での講座開催を継続していきたいと思えます。



認知症の人との接し方を熱心に学ぶ児童

大笹生小学校の児童は地域柄、曾祖父父母・祖父母と同居していることが多く、普段から高齢者と接する機会も多いため、認知症についても基本的な知識をもっている児童もいます。

今回の講座では、講話の他職員による「電話の取り次ぎができない認知症のおばあちやんと家族」のやりとりを用いた寸劇から、認知症の方へのよい接し方を児童一人一人



オレンジリングを持ってもりんと記念撮影



寸劇を見て悪い対応を見つけるクイズ

## 特定技能実習生 チンさん 実習終了しベトナムへ帰国

2019（平成31）年11月から生愛会で初めて迎えた技能実習生、チンさんが2024（令和6）年12月3日、約5年間の実習を終えて、ベトナムに帰国されました。

5年間の内、3年間は技能実習生、2年間は特定技能実習生として生愛会ナーシングケアセンターの介護の分野で実習しました。実習期間中、日本語を勉強し、初任者研修を修了しました。

日本語も単語程度の理解でしたが、慣れない環境で必死に実習し、真剣に取り組みました。

生愛祭や法人施設内で定期的に開催している、音楽療法の一環として生愛会職員で結成されたバンド、カナリアンズのダンサーとして加入し、バンドを盛り上げてくれました。ダンスも一生懸命練習していました。

チンさんがベトナムに帰ってしまうのは正直寂しいですが、新たな出発を日本から応援したいと思います。

チンさん、ありがとうございます。お疲れ様でした。



満山さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。ございました。

生愛会グループが技能実習生を受け入れる当初からお世話になっていて、福島県国際交流事業共同組合（FKK）理事満山裕二さんが、この度退職されるため、本間理事長へご挨拶にきて下さいました。満山さんには、事業所と実習生の間に入っていた下さり、通訳を通して、潤滑な運営ができるよう、尽力していただきました。

介護業務のほか、入国や日本で生活するための手続きや実習生の生活の中で困った事など多岐に渡り指南していただきました。大変お世話になりました。



# 呼吸を鍛えて、誤嚥に負けない体づくり（誤嚥性肺炎予防）

## 肺理学療法の「環」として 吹き戻しリハビリテーション

生愛会の通所リハビリテーションでは、呼吸機能のトレーニングの一環として、吹き戻し（巻き笛）を使ったりリハビリテーションを実施しています。



吹き戻しリハビリテーション

このトレーニングはブローイングと呼ばれる呼吸トレーニングの一種で、強く息を吹くことで気道が広がることから、慢性閉塞性肺疾患などにも効果があるといわれています。また、加齢による喀出力（気道に入った異物を息で吐き出す力）の低下を予防し、食べ物を誤嚥しても咳払いでしっかりと吐き出せるよう、利用者さんに取り組んでいただいております。



家庭でも行える（吹き戻し）

個別のトレーニングとして行うだけではなく、懐かしい歌に合わせて一緒に音を鳴らしたり、吹き戻しの部分でピンポン玉に当たって落としたりなど、レクリエーションとしても楽しんでいただけるよう工夫をしています。

また、「小さい頃、よくこんなおもちゃで遊んだことがある」とおっしゃる利用者さんも多く、トレーニングをしながら、昔のことを思い出していただいております。



音楽に合わせて一緒にトレーニング

興味のある方は、ぜひご家庭でもお試しください。

## 通所リハビリテーション(老健)クリスマス会 笑顔のあふれる会に!

### 通所リハビリテーションクリスマス会

2025（令和7）年12月23日（月）に医療法人 生愛会 附属介護老人保健施設 生愛会 ナーシングケアセンター 通所リハビリテーションで、クリスマス会を行いました。職員がサンタやトナカイの衣装を身に付け、利用者の方たちと職員と一緒に考えた催し物やクリスマスソング、冬之歌を歌い、利用者全員にメッセージと写真付きのクリスマスカードをプレゼントし、大変喜んでいただきました。



季節の唄を楽しまれる



サンタクロースからの開会の言葉



クリスマスの衣装でのおもてなし



クリスマスカードの贈呈



サンタクロースと一緒に運動

社会福祉法人 生愛福祉事業団  
**生愛ガーデン・生愛レジデンス「年末年始のイベント」**  
 (クリスマス会・新年会)

**グループホームと  
 特養合同で開催**

2024(令和6)年12月25日(水)に、生愛ガーデン(特別養護老人ホーム)と、生愛レジデンス(グループホーム)合同でクリスマス会を開催しました。

今年が生愛ガーデン介護職の大久保美喜による「マジックショー」です。

まず最初に、空っぽの筒に呪文を唱えると、なんと！スカーフが出て来ました。「おおくすごい！」と歓声が上がりました。



次は、好きな色をリクエストすると、なんと不思議！水の入ったペットボトルが、その人の好きな色に変わるというマジックです。

生愛レジデンス入所者の鈴木富美子さんは「ピンクが好き」といったら、また呪文を唱えてペットボトルを振っている



と透明な水がピンク色に！これには富美子さんも思わずびっくりして、この表情！

その次は、大きな箱に管理栄養士の熊坂が入っていきます。その箱に容赦なく、皆で長い棒を突き刺します。中の職員は果たして無事に生還できるのでしょうか？



箱の中には職員(熊坂)が入っています



恐る恐る蓋を開けてみると：無事生還！拍手喝采！

無傷で出てきた姿を見て、皆安堵しました。

さて、最後は利用者の皆さんと一緒にクリスマスソングの演奏です。安井きみ子さんの演奏です。安井きみ子さんの演奏です。安井きみ子さんの演奏です。

最後は手作りのクリスマスケーキをほおばり、とても楽しいひと時を過ごしました。



**グループホーム  
 生愛レジデンス  
 新年会**

生愛レジデンスでは、2025(令和7)年1月27日(月)に、常日頃お世話になっている理事長先生と、謙一専務をお招きして新年会を実施しました。

理事長先生とお話できるとあって、利用者の方は興奮気味です。

まずは、利用者の皆さんを代表して安藤千代子さんから感謝のメッセージをお伝えしました。



記念品として絵馬(手作り)を贈りました



今日は昨年も、理事長先生に好評だった鳥鍋を準備させていただきました。

理事長先生や、謙一専務と歓談しながら、皆で美味しいお鍋を、お腹いっぱい食べました。普段より「おかわり！」の声が多く聞かれました。



昨年も好評だったので今年も「鳥鍋・醤油味」

楽しい時間はあっという間。最後は、理事長先生と一緒に記念撮影。今年も生愛レジデンスを、どうぞ宜しくお願いします！

今年も宜しくお願いします



# 生愛福祉事業団・地域関連イベント（おひな祭り）

## 生愛福祉事業団 「おひな祭りの会」

2025（令和7）年3月3日（月）に折戸地区婦人会の皆様をお招きして「おひな祭りの会」を開催しました。



折戸町内婦人会  
新会長：佐藤様

新会長の佐藤様よりご挨拶をいただきました。

折戸町内婦人会の皆さんはいつも当法人の行事に参加してくださいませ。顔見知りが増えて、利用者の皆さんも楽しそうです。

今年は3種のゲームを準備しました。まずは「玉入れゲーム」です。利用者の皆さんと婦人会の皆さんで、ホワイボードに貼られたひな壇のポケットに両者力をあわせてボールを入れるゲームです。



「玉入れゲーム」  
婦人会と利用者の皆さんとの混合競技です



「おひな様綱引き」  
バランス崩さず引っ張って！

次は「おひな様綱引き」です。紙コップでできたひな壇を崩さないように引いて行きます。倒さず、早く手元に手

繰り寄せた人が勝ちです。バランスとるのがなかなか難しい！頑張れ！と声援が飛び交っています。

最後のゲームは「ひしもち重ね」です。三色の画用紙でできたひしもちの土台を、より高く積み上げたチームが勝ちとなります。



「ひしもち重ね」できるだけ高く、速く！

テーブル単位でチーム分けされているので、これも利用者の皆さんと婦人会の皆さんが協力して積み上げます。優勝チームには記念品の手作りの「ひな人形」が贈呈されました。



優勝チームには  
記念品の「おひな様」

ゲームの後はおやつタイム。桜餅と、雛あられのほかに、婦人会の皆さんと、油井富子さんから差し入れて頂いた

甘酒を皆で、一緒に食べ、楽しいひとときを過ごしました。婦人会の皆様いつもありがとうございます。



若々しい婦人会の皆さん  
ひな人形と一緒に記念撮影

## ご意見・ご要望

医療法人 生愛会 附属介護老人保健施設 生愛会ナーシングケアセンターの入所者より、職員への対応に関する苦情があり、左記のように対応致しました。不快な思いをさせてしまい、深くお詫び申し上げます。

【受付日】令和6年12月18日

【内容】①移乗介助の際、右腕を強く引っ張られて痛かった。

【問題点】①移乗介助方法が適切ではなかった。②不適切なケアをしている自覚がない。

【対策】①苦情解決委員会の開催。当事者（男性職員）への指導。

②職員研修で、このような苦情があったこと、どう対応したのかなど経過を報告し、今後の対策を職員に周知した。

当事者（その男性職員）の言動に関しまして、ご本人とご家族に不快な思いをさせ、不信感を与えてしまいました。大変申し訳ございませんでした。より一層の注意を払い、安心・安全のケアの提供に努め、再発防止を徹底してまいります。

## 人事

2025年4月1日付

【医療法人 生愛会】  
（昇格）

- ①星野篤宏 リハビリテーション科 作業療法士 科長  
（前 リハビリテーション科 主任）
- ②工藤愛紗実 生活期リハビリテーション棟  
栄養サポートチーム 管理栄養士 主任  
（前 栄養サポートチーム 管理栄養士）
- ③菊地由起子 法人本部 事務主任  
（前 法人本部 事務）

【社会福祉法人 生愛福祉事業団】  
（昇格）

- ④小池春香 生愛ガーデン 生活相談員 係長  
（前 生愛ガーデン 生活相談員 主任）

2025年4月16日付

【医療法人 生愛会】  
（異動）

- ⑤渡邊祈乃 生活期リハビリテーション棟  
栄養サポートチーム 管理栄養士  
（前 生愛ガーデン 管理栄養士）

【社会福祉法人 生愛福祉事業団】  
（異動）

- ⑥我妻瞳 生愛ガーデン 管理栄養士  
（前 生活期リハビリテーション棟  
栄養サポートチーム 管理栄養士 主任）



医療 保健 福祉 総合11事業 総職員200名  
医療法人 生愛会グループ空撮全景



**4号館**

地域複合型総合施設  
生愛会 総合リハビリテーション医療ケアセンター  
〒960-0251 福島市大笹生字向平 6-1  
内科・整形外科・リハビリテーション科・神経内科・  
もの忘れ外来・歯科・口腔外科・摂食嚥下リハビリテ-  
ーション科・放射線科

- 生愛会中央医療クリニック  
TEL/FAX 024-555-5963 [E-mail] clinic@seiaikai.jp
- ヘルスクラスクール  
TEL 024-558-8139 FAX 024-558-5564
- 生愛会ホームヘルプステーション  
TEL 024-558-8139 FAX 024-558-8130
- 福島市信陵地域包括支援センター  
TEL 024-558-7867 FAX 024-558-7865  
[E-mail] houkatsu@seiaikai.jp
- 生愛ヒルトップ・ルネサンス  
TEL 024-558-1539 FAX 024-558-1536

**交通のご案内**

**お車で**  
東京から 東北自動車道・東北中央自動車道 約265km 福島大笹生 IC お車で約5分

**電車で**  
JR 東京駅 東北新幹線 約1時間20分 JR 福島駅 タクシーで約15分  
バスで(※) 約20分  
(※) 折戸行乗車、折戸停留所下車、停留所より徒歩5分

**本館**

医療法人 生愛会  
〒960-0251 福島市大笹生字向平 1 3-1

附属 介護老人保健施設(100床)

- 生愛会ナースングケアセンター  
TEL 024-555-2244 FAX 024-555-2241  
[E-mail] nc-c@seiaikai.jp
- 生愛会居宅介護支援センター  
TEL 024-557-7773 FAX 024-557-7774  
[E-mail] sien@seiaikai.jp
- 生愛会本部会館  
TEL 024-555-2244 (内線1830) FAX 024-555-2241

**編集後記**

2025年は巳年です。過去の巳年の出来事を振り返ると、1989年、昭和天皇がご逝去。日本は『平成』という新たな時代へと移行しました。2001年、皇室に愛子さま誕生、蛇の特徴である「再生」と「変化」を体現するかのよう、新たな希望をもたらしました。2013年、安倍政権が打ち出したアベノミクス、柔軟な金融政策、大胆な財政出動、そして成長戦略という3本の矢で日本経済に新たな活力を吹き込もうとしました。蛇が脱皮して新しくなるように、日本社会も大きな変化や再生する出来事が多く起こっています。巳年は「成長」や「変革」の年と言われているそうです。2025年の巳年はどんな事が起こるのでしょうか？ワクワクな気持ちに乗せて生愛タイムズ編集いたしました。是非、ご覧下さい。  
(医療法人 生愛会 常務理事・法人統括看護部長 生愛会ナースングケアセンター施設長 谷口裕子)

**2号館**

**3号館**

社会福祉法人 生愛福祉事業団  
〒960-0251 福島市大笹生字向平 1 2

特別養護老人ホーム

- 生愛ガーデン  
TEL 024-555-5311 FAX 024-555-3611  
[E-mail] garden@seiaikai.jp
- 生愛レジデンス  
TEL 024-555-4611 FAX 024-555-3687  
[E-mail] residence@seiaikai.jp

グランヒル生愛 (医師宿舎・職員宿舎)